



パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で繋がりをより深めあおう

パワー浜松ロータリークラブ (2015-16年度 会長: 知久 武 幹事: 鈴木 尚孝)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第601回例会 10月27日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 加藤ひとみ、山崎益男 ●点鐘: 知久武
- ゲスト: 米山記念奨学生 于春蘇さん
- 議事: 米山記念部会「米山記念奨学生 于春蘇さん 卓話」

〈出席報告〉

会員数 76名
出席数 62名 出席率 81.58%
前々回出席率 84.21%

■会長挨拶 知久武会長

先週は創立記念例会でした。今月もうそろそろ終わりで、今月のビュー広場に池田龍郎さん、鈴木直幸さんが投稿されていました。自分にとって大変感動しました。先日の日曜日は浜岡原発へ見学に行ってきた。僕の世界にない事なので刺激になり、勉強になりました。原発がいいか、悪いかわからないのですが、すごく勉強になりました。その前にCグループで池田さんのサーキット場でゴーカートをやりました。私自身、車に興味はなく、レースとかも興味はなかったのですが、一度やってみるとおもしろかったです。レースが終わった後は汗がびしょりになり、またスポーツ感があり、体力を使いました。その後ビールを飲みましたが、スポーツをやった爽快感のビールのおいしさでした。ゴルフにない爽快感がありました。違う事をやってみる、挑戦するというのはささいな事でも大事と思いました。私は新入社員に言いますが、とにかく「新しい挑戦をなさい」と言います。例えばカートに挑戦するとか、自分の場合東京に月2回泊りで行く事がありますが、ホテルを選ぶ時いろいろなホテルに泊まります。安いホテルから高いホテルまでいろいろなホテルに泊まる様にしています。いつも高級なホテルに泊まっているといろいろな事が見えてこない気がします。またいろいろな発見があります。仕事が終わった後、いろいろと遊んだりしますが、ここ2年は新宿のルミネ吉本、歌舞伎座、ライオンキング等に行きます。行ってみると何か違うものが発見できます。普段同じ行動をするのではなく、ちょっと違う行動をするだけでもいろいろな挑戦になるのではないかと感じています。是非ともみなさんもいろいろな挑戦をして頂くと

新しい世界が出てきますし、いいことではないかと思えます。又、機会があれば、みなさんと一緒にサーキットで大会を開きたいと思えます。

■幹事報告 鈴木孝尚幹事

- ・11月3日の例会は休みです
- ・11月1日よりホームページのパスワードが変更になります
- ・例会を欠席した方のビュー広場の投稿は、200字以上、2週間以内です。

■委員会報告

田淵邦彦副幹事

11月6、7日に甲府で地区大会があります。

■スマイル

知久武会長、鈴木孝尚幹事: 先々週のCチームの交流会では、池田さんの会社のゴーカート場でのカート講習で大変お世話になりました。

村田誠会員、小澤邦比呂会員: 本日は奨学生 于さんの卓話をお聞き頂き有難うございました。

山崎益男会員: 11月7、8日浜松アリーナでジブラルタ生命提供のプロバスケットチームの試合があります。

西尾文克会員: 10月25日、浜岡原発の視察見学会に多数の方にご参加頂き有難うございました。

滝浪實会員: 先日金山先生の釣られた貴重な鮎のくんせいと、鮎の塩焼きをおいしく食べさせて頂きました。

滝浪實会員: ハッピーバースデーのルービックキューブ有難うございました。認知症対策に使わせて頂きます。

■ハッピーバースデー

今月は8名です。

■ 議事

村田誠会員：10 月は米山月間となっています。ロータリー米山記念奨学事業は将来日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー活動のよき理解者となる人材を育成する事を事業の使命とし、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援をする日本のロータリー独自の世界にも類のない奨学事業です。この奨学事業はみなさんの寄付で成り立っています。先月末にお配りしました米山豆辞典ですが記念奨学事業のイロハが網羅されています。米山月間のこの機会に一度目を通してください。

于 春蘇さん：私の自己紹介と故郷の紹介と今まで感じた事を話したいと思います。

私の名前は、日本語の発音がウシュンソですが、中国の発音は拼音（ピンイン）を使って yuchunsu です。お爺ちゃんからもらった名前です。私の名前の 3 つの漢字は、それぞれの由来と意味を持っています。まず、名字の「于」からです。この名字は結構深い歴史があり、トーテムがあります。トーテムとは日本の家紋と同じです。2015 年に中国「百家姓」という中国でよく知られる姓のコレクションの中で第 28 番目の位置に立っています。結構前と思いますが、TOP10 の名字の合計人口数は 5.5 億人で、総人口数の半分の 1 です。名字「于」の由来が幾つかの物語があるのですが、今日は一番信頼度が高い方を話します。紀元前 11 世紀（現在から 3100 年前）頃、殷（いん）を滅ぼした周は各地の有力者や王族を諸侯として封建制度を行いました。周武王は王族たちに名誉や土地を与えました。そして周武王の第 2 番目の息子（第 3 番目の言い方もありますが、現在ははっきりいえません）が河南省邗邗村（現在の河南省の沁陽ちんよう市近く）に派遣され、この地域の王になりました。この地域は「邗国」と呼ばれていました。戦国時代に邗国が滅ぼして、国民たちが自分の国を忘れてはいけないため、国の名前を自分の名字として生き続ける事を決めました。でもその漢字のまま使うと殺される可能性があるため、この漢字の左半分だけを使う事になりました。「于」の名字を持っている人々が長い歴史と一緒に流れて、主として山東省、内モンゴル、黒竜江省（こくりゅうこう）、江蘇省（こうそ）など 18 ヶ所に移りました。その中で江蘇省の溧阳市

は私の本籍地です。お爺ちゃんはここで生まれ育ち西安の大学へ通い、そのまま西安に残りました。そこで江蘇省の「蘇」の漢字だけ赤色をつける理由は、この字は私の名前、最後の漢字の一つの由来です。私は西安で産まれたので、お爺ちゃんが私の本籍地を忘れないように名前に入れました。この字のもう一つの意味が「春」の漢字と関わっています。私はいつも「春」（シュン）で紹介しましたが、実際に春に産まれたわけではありません。なぜ「春」（シュン）の言い方をするのですか。理由は日本人が一番理解しやすいと思います。私の誕生日は 1990 年 2 月 5 日です。この日は中国の旧暦の正月十日で、日本の新年は 1 月 1 日ですが、中国の新年は旧暦によって毎年違います。正月 1 日から 15 日までの 15 日間は「春節」と呼ばれています。よって名前の「春」は「春節」の「春」です。中国で春節には家族で集まります。その時にもう一つの家族を産まれて蘇りました。その一人は私です。私が子供の頃、祖父と祖母と一緒に暮らす時間が多かったのです。祖母は大学の国文学の教師でした。あの時、祖母はまだ子供の私に名前に関わるある諺を教えてくださいました。

それは、「一年之計在于春、一日之計在于晨、一家之計在于和、一生之計在于勤」です。

日本語の意味：一年の計は春にあり、一日の計は朝にあり、家族の計は睦（ぼく）であり、一生の計は勤勉であり。以上名前の紹介でした。



今から故郷、陝西省の西安市を紹介します。

西安市とは「西の首都」の意味であり、昔は長安と呼ばれました。浜松との経度がほぼ同じです。古代より政治の中心地として西周から秦（しん）、漢から隋（すい）、

唐の都城と十数の王朝の首都として千年の歴史がある都市です。なぜ西安は首都として選ばれたのでしょうか。中国の関中平原の中部に位置し、守りやすいけれど難攻不落の城であり、西北の少数民族を防ぐために建てられた都市でした。西安の花は石榴です。ところで私は浜松市の花が分かりませんでしたので調べました。実は私はびっくりしました。浜松市の花はミカンです。西安は京都、奈良などの5つの都市と友好都市になりました。西安の有名な観光地を紹介します。まず世界遺産の兵馬俑（へいばよう）からです。ところで不思議な事が陝西省の地図と跪く（ひざまずく）姿の兵馬俑がすごく似ています。秦（しん）の始皇帝は中国史初の皇帝でありましたが、強大な力を利用し大きな陵墓を建てました。1974年3月に地元の人が井戸を掘った時に発見されました。現在の規模は2万平方メートル余ありますが、発掘難度が高いので未発掘箇所は非常に広いです。特に始皇帝の遺体安置場所近くに「水銀の川や海が作られた」噂があります。研究員たちがこの周囲から水銀の蒸発が確認され、ただの噂だけでなく真実ある可能性が高くなりました。兵馬俑は人々に「世界第8番目の奇跡」と呼ばれています。是非西安に行ってみてください。ちなみに入場チケットは140円です。ここはエピソードが入ります。西安は歴史が深い都市の証拠は古い墓が大変多いです。西安の地下鉄の工事の開始は2006年からですが、他の都市と比べてだいぶ遅くなりました。その原因は墓が多いので難度が高いです。1号線の長さは31.8kmですが、古い墓は百ヶ所以上が発見されました。そして1号線の開通まで7年間掛かりました。西安の他の世界遺産として大雁塔（だいがんとう）があります。652年唐の高僧玄奘三蔵がインドから持ち帰った経典や仏像などを保存するために建てられた塔でした。他の世界遺産は小雁塔、大明宮国家遺跡公園、興教時、未央宮遺跡があります。西安は歴史が深く、綺麗な観光地を持っている都市だけでなく、沢山グルメもあります。以上私の故郷の紹介でした。中国を成立する前に、首都を何処にするのかまだわからなかったため、国民投票を行いました。その結果西安は1票差で北京に負けました。そして内陸の原因であまり重視されていなかったため、経済力がだいぶ遅くなりました。沿海の大都市と比べてまだまだ足りないところがいっぱいありますが、この街は毎日進歩しています。将来きっともっと立派な大都市になると信じています。



なぜ、今日の内容をみなさんに話したのでしょうか。この前、日本と中国の架け橋になりたいと言いましたが、一体何処から着手していいかわかりません。近年、日中関係が厳しくなったので、中国の国民が日本の国民の文化や生活状況など分からない上に理解出来ませんでした。そして歴史や領域の問題だけに閉じ込めて、あちこちでテロが起きました。故郷の西安でもありました。私はそのニュースを見て悲しかったです。無知の方が一番怖いと思います。そして私は気づきました。私が出来る事は簡単です。それは私が媒介として周りの中国人と日本人の友達に相手の日常生活や文化や習慣などを知るように文化交流をする事だと考えています。そして私の友達の中に「自分の目で相手の国に行ってみて見たいなあ」と思う人が出来たら、私が架け橋として成功したいと思います。皆さんと出会ってからいつもと違う景色を見て、心の中の景色も変わりました。私は自分の目から見た日本の事を、国内の友達に伝えたい為、もっともっと日本の事を知りたくなりました。そして残り半年、皆さんがもし私に教えた事がありましたら、遠慮せずどんどん教えてください。宜しくお願いします。